



国際ロータリー 第2690地区 第10グループ

玉野ロータリークラブ

■2009～2010年度 役員■
 会 長 東川 清隆
 会長エレクト 岸本 昌法
 幹 事 槌田 正則
 副 幹 事 緋田 秀雄
 S A A 松尾 洋二
 副SAA 近藤 勇進

2009～2010年度
 国際ロータリーのテーマ



国際ロータリー会長 ジョン・ケニー

週報

■事務局/〒706-0011 玉野市宇野1-11-1
 TEL. 0863-33-2228 FAX. 0863-33-2225
 ホームページ <http://www.tamano.or.jp/rotary>
 E-mail tamanorc@tamano.or.jp

■例会場/瀬戸大橋カントリークラブ
 〒706-0153 玉野市滝1640-1
 TEL. 0863-71-4500 FAX. 0863-71-4509

■例会日/毎週金曜日(12:30～13:30)

No.2061	
6月4日例会 プログラム	「ごみ減量やりサイクルについて」 玉野市生活環境課 係長 津田 岳史様
6月11日例会 プログラム	「1年を省みて」 各委員会委員長
6月4日のメニュー	・鱈の香り焼き・牛肉の野菜巻き・つづ貝のワサビ漬け・ご飯・お味噌汁・お漬物・コーヒー

前回(5月28日)例会記録

出席報告	会員総数	33名	出席者数	25名	欠席者数	8名	出席率	75.76%	前回補正率	81.82%
	前回補正者	緋田君 宮原君								
	欠席者	林君 井上君 岸君 三宅(照)君 小野君 白石君 大谷君 山田(次)君								

来 訪 者 高島 昭嘉様 (エコライフ玉野副会長)

会長挨拶

本日のゲストの方をご紹介します。エコライフ玉野副会長の高島昭嘉様です。ようこそいらっしゃいました。後程、お話を頂きます。

さて、今、口蹄疫の流行で殺処分される家畜は20万頭を超え、補償額は1,000億にという最悪の事態となっていますが、先日「口蹄疫の流行とワラ文化の崩壊」という記事を見ました。今、はっきりとした原因はわかりませんが、有力視される感染ルートとして、家畜の飼料として中国や韓国から輸入される稲ワラが疑われているそうです。記事の内容を要約すると、日本はみずみずしい稲穂が実る「瑞穂の国」で稲ワラは藁、ワラジや俵、むしろなど敷物など生活のいたる処にありましたし、肥料、飼料として重要な役目がありました。水田の機械化で脱穀と同時に粉碎して土に返す、高齢化でワラ集めができないなど理由はいろいろあるでしょうが、急速にワラが姿を消し、最近はいしめ飾りでさえ合成繊維に替わっている。水田から得られた稲ワラを牛が食べ、牛から出る牛糞が堆肥となって水田に散布され米ができるという循環が、過度の効率優先の結果、日本では崩れ、「瑞穂の国」でありながらワラを輸入するというバカバカしさへの警告として今回の口蹄疫があるのではないかと、という記事でした。皆さんはどう思われるでしょうか。

幹事報告

- ・玉野商工会議所より第14回たまの・港フェスティバル協賛のお礼が届いております。
- ・玉野警察署管内暴力追放推進協議会総会のご案内が届いております。東川会長に出席をお願い致します。
 日時：平成22年6月24日(木) 場所：玉野警察署3F大会議室
- ・次年度手帳型会員名簿の資料を配付しますので、内容の変更・訂正される方はお申し出ください。
- ・大阪リバーサイドロータリークラブより30周年記念式典の写真が届いております。出席者の皆さんにはボックスに入れておきます。
- ・他クラブ週報、例会変更通知は回覧させていただきます。

贈呈式

- ・東川会長よりエコライフ玉野副会長の高島 昭嘉様へ竹酢液の純度を高める蒸留竹酢液製造装置の購入資金に充てる助成金の贈呈を行いました。



ゲスト挨拶 高島 昭嘉様 (エコライフ玉野副会長)

皆様、今日は。本日は蒸留竹酢液製造装置の代金として多額の助成金を頂きましてありがとうございます。「エコライフ玉野」の竹酢液は、排煙温度75～150℃に排出される竹酢液のみを採取し、それを酸性に強いステンレスドラム缶の中で3ヶ月以上、最近ではできるだけ6ヶ月以上静置してから新しいペットボトルに詰めて密封して販売してきましたが、竹酢液はタール分を一定量含んでいるため、一定期間経過するとペットボトルの内側にタールが付着して黒ずんでくるし、封を切ると酸化して液が少し黒ずんだり、浴槽のタイルなどが黒ずむことがあります。この点は依然として科学的に実証されてい

ないし正確なことは不明であり、我々は長い間迷ってきました。このような時に運よく玉野 RC から力強い援助の申し出がありましたので、試行錯誤を繰り返してようやくして手作りの蒸留竹酢液製造装置を作って、タール分を除去した透明な蒸留竹酢液を作ることに成功しました。基本的にはステンレスの寸胴鍋に1年静置した竹酢液を入れてゆっくりと熱して気体にしたものをリービッチ冷却器の中で周りの水によって冷やして液体状に戻すという簡単な構造です。ゆっくりと熱することが大事で、1日で40しかできません。ネット販売では250mlを平均7,000円で販売していますが、我々は500mlを800円で特別に販売しております。

今後も続けていきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

地球温暖化防止運動の一環である竹の伐採・竹林整備につきましては、配付しています資料の中はかなり詳しい説明を入れておりますので、読んで頂きたいと思っております。この件につきましては、少し時間がかかると思いますが、出来ればご協力をお願いすると共に、その一部について玉野 RC が主体的にやるようなことを考えて頂いて、玉野 RC と共同事業ができればと考えております。

以上、よろしくお願いいたします。本日はありがとうございました。

委員会報告

- ・石川次期親睦・家族委員長：平成22年8月8日(日)に次年度の第1回家族例会として、くじら島へ行くことを計画しております。会員及びご家族の皆様のご参加をお願い致します。来月の理事・役員会でご承認後、皆様にご案内を改めて致します。
- ・ハイロー会(谷口ハイロー会幹事)：6月6日に開催される大阪リバーサイド RC・玉野 RC 第3回合同親睦ゴルフコンペに当クラブからの参加者が9名に決まりました。参加お申込みの皆様、ありがとうございます。
- ・緋田次期幹事：次年度各委員長の皆様をお願いしています運営計画書の原稿の提出締切りは本日ですが、まだ提出されていない方は月内に事務局の方へ提出をお願い致します。

スマイル・ボックス

- ・東川君、松尾君、島田君—高畠様、よくいらっしゃいました。
- ・藤田君—高畠さん、入会おめでとう。ではなかった、卓話ありがとうございます。
- ・三谷君①—本日、卓話をいたします。
- ・三谷君②—欠席2回。
- ・渡邊君—市商高等学校健診の為、早退いたします。

プログラム 「ロータリー親睦活動月間に因んで」 親睦・家族委員会 三谷 尚三委員長

皆さん、今日は。来月6月はロータリー親睦月間です。レクリエーション活動や保健と医療問題に共通の関心を寄せるロータリアンや類似した職業を持つロータリアン同士の国際親善と善意の重要性を認識し、親睦活動への参加の増加及びこのプログラムに対する理解を促進するため、RI 理事会によってロータリー親睦活動月間として指定されています。RI 理事会は各親睦グループがプロジェクト・活動及び催しを通じて6月の「ロータリー親睦月間」を祝う活動を強調するよう奨励しています。そして、親睦活動は大きく四つに分類されます。

第一に「会員相互」についてであり、会員は職業分類において平等であることを基本とし、そのためには座席の配列を注意したり旅行などの企画等々、要は一緒に行動することです。

次に「来訪者」についてであり、来訪者の受ける印象がクラブの価値を決定します。来訪者をまごつかせぬこと、ひとりぼっちで置かぬことが大切です。そして来訪者の印象はクラブを立ち去るときの最終印象によって決まりますので、最後まで友情を示すことに心掛けましょう。

三番目は「他クラブとの親睦」です。近隣クラブとのゴルフコンペなど交際範囲が広まり刺激を受けてロータリーの楽しさを増加させます。積極的に交流しましょう。

最後に「家族を交えた親睦会」です。会員とその家族を交えた家族会が大きな親睦効果を上げます。家族にロータリーを理解させ、ロータリーの良さを印象付ける色々な行事が必要であり、そのためにも夫婦同伴であるべきです。

以上ですが、我々の玉野 RC は非常に仲の良い集りであると皆さんも感じていらっしゃると思っておりますので、この良き雰囲気を守っていくことを肝に銘じて、親睦月間の卓話とさせていただきます。